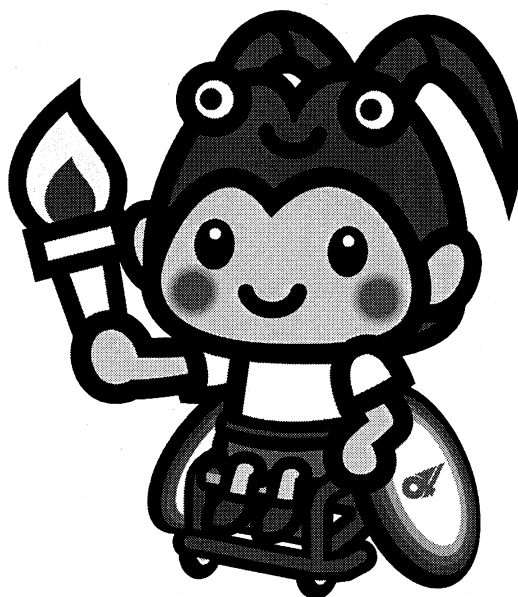


三重県競技力向上対策本部

第20回競技力向上対策委員会



令和5年11月27日（月）

プラザ洞津

三重県競技力向上対策本部

第20回競技力向上対策委員会 資料目次

○ 三重県競技力向上対策本部第20回競技力向上対策委員会 会議次第	P 3
○ 説明・報告事項	
（1）委員の変更	P 7
（2）三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過	P 8
（3）令和5年度競技力向上対策事業に係る進捗状況の報告及び成果	P 12
（4）特別国民体育大会に係る総合成績	P 13
（5）第19回競技力向上対策委員会の概要について	P 18
○ 協議事項	
（1）安定期における競技力向上に係る取組等について	P 22
（2）パラアスリートの強化について	P 30
○ 参考資料	
・ 第69回～特別国民体育大会における天皇杯・皇后杯順位の推移	P 34
・ 国民体育大会における競技結果の推移	P 36
・ 国民体育大会における競技得点の比較	P 38
・ 国民体育大会第44回東海ブロック大会成績一覧表	P 42
・ 国民体育大会における競技得点の岐阜県・静岡県との比較	P 44
・ 令和5年度スポーツ指導員に係る競技成績について	P 46
・ 令和5年度ふるさとアスリートタレントに係る競技成績について	P 47
・ 令和5年度大学運動部、企業・クラブチーム指定チームに係る競技成績について	P 48
・ 令和5年度トップアスリート応援事業認定選手に係る競技成績について	P 49
・ 令和5年度チームみえ・コーチアカデミーセンター事業コーチデベロッパーに係る 競技実績について	P 50
・ 令和5年度パラリンピック等強化指定選手に係る競技実績について	P 51
・ 三重県競技力向上対策本部の競技力向上に係る取組方針	P 52
・ 第3次三重県スポーツ推進計画	P 54
・ 三重県競技力向上対策委員会規程	P 69

三重県競技力向上対策本部

第20回競技力向上対策委員会 会議次第

令和5年11月27日（月）

プラザ洞津 2階 末広の間

1 開 会

2 挨 拶

3 説明・報告事項

- (1) 委員の変更
- (2) 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過
- (3) 令和5年度競技力向上対策事業に係る進捗状況の報告及び成果
- (4) 特別国民体育大会に係る総合成績
- (5) 第19回競技力向上対策委員会の概要について

4 協議事項

- (1) 安定期における競技力向上に係る取組等について
- (2) パラアスリートの強化について

5 閉 会

令和6年度競技力向上対策事業について（案）

説明・報告事項

三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会

(委員長：1名、副委員長：1名、委員：19名、計：21名)

【委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県地域連携・交通部スポーツ推進局長	山川 晴久

【副委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県スポーツ協会副会長	村木 輝行

【委員：19名】敬称略、順不同

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県教育委員会事務局次長	山添 達也
市町関係	四日市市シティプロモーション部次長兼スポーツ課長	田中 敦
	明和町参事兼総務防災課長	朝倉 正浩
産業・経済関係	株式会社エクセディ上級執行役員グローバル人材開発本部長	山村 佳弘
	株式会社デンソー大安製作所長	滝 文隆
	本田技研工業株式会社四輪・電動総務部鈴鹿総務課長	松本 周一
	相好株式会社代表取締役	山本 将之
	住友電装株式会社総務部長	木下 勝善
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県スポーツ協会強化・普及委員会委員長	松澤 二一
	三重県中学校体育連盟会長	北村 浩久
	三重県高等学校体育連盟会長	嶋田 和彦
	伊賀FCくノ一三重サテライトU15監督	那須麻衣子
	県立津工業高等学校ヨット部顧問	伊藤 秀郎
	株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ常務取締役	椎葉 誠
	中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科准教授	草薙 健太
	三重高等学校女子ソフトテニス部顧問	村田真紀乃
	三重県障がい者スポーツ協会事務局長	森川 幸則
学識経験	社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院整形外科・リハビリテーション科部長 スポーツ医学センター長	福田 亜紀
	日本体育大学体育学部教授	杉田 正明

※ が変更箇所

三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過

年月日	内 容
平成23年 11月15日	県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。
平成24年 1月11日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定されました。
平成25年 5月29日	三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。
6月 3日	三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月13日	三重県競技力向上対策本部「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月16日	三重県競技力向上対策本部「第1回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成26年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月22日	三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。
10月 1日	三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月13日	三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成27年 3月19日	三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月23日	三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。

9月 4日	三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月4日	三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第3回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月25日	三重県競技力向上対策本部「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成28年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第4回本部会議」を開催しました。
7月20日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定されました。
9月14日	三重県競技力向上対策本部「第7回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月22日	三重県競技力向上対策本部「第4回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成29年 3月23日	三重県競技力向上対策本部「第8回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第5回本部会議」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第5回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月20日	三重県競技力向上対策本部「第9回競技力向上対策委員会」を開催しました。

平成30年 3月14日	三重県競技力向上対策本部「第10回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第6回本部会議」を開催しました。
7月18日	公益財団法人日本スポーツ協会理事会にて、2021年第76回国民体育大会の開催地として正式に決定されました。
10月23日	三重県競技力向上対策本部「第6回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第6回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第6回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第11回競技力向上対策委員会」を開催しました。
平成31年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第12回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第7回本部会議」を開催しました。
令和元年 10月28日	三重県競技力向上対策本部「第7回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第7回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月 1日	三重県競技力向上対策本部「第7回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月21日	三重県競技力向上対策本部「第13回競技力向上対策委員会」を開催しました。
令和2年 2月20日	三重県競技力向上対策本部「第14回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月 1日	三重県競技力向上対策本部「第8回本部会議」を開催しました。
令和3年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第15回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月 1日	三重県競技力向上対策本部「第9回本部会議」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第16回競技力向上対策委員会」を開催しました。

令和4年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第17回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月20日	三重県競技力向上対策本部「第10回本部会議」を開催しました。
11月15日	三重県競技力向上対策本部「第18回競技力向上対策委員会」を開催しました。
令和5年 3月20日	三重県競技力向上対策本部「第19回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月28日	三重県競技力向上対策本部「第11回本部会議」を開催しました。

令和5年度競技力向上対策事業について

	事業名	対象	取組内容	進捗状況とこれまでの成果
①	チームみえジュニア育成事業	ジュニア・少年選手	全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手(小学生・中学生)を「チームみえジュニア」として指定し、その育成・強化を目指した活動を支援するとともに、スポーツ体験会による新たなジュニア選手の発掘を支援することで長期的で持続可能な競技力の向上を図る。	チームみえジュニア選手として687名を指定し、指定証の配布を行った。スポーツ体験会の案内を県内全小・中学校に配布し、16競技で選手発掘を行った。
②	ジュニアクラブ・運動部強化指定事業		今後の国民体育大会等において、少年種別の中心となる選手の育成・強化を目指し、その強化活動を支援し、競技力の向上を図る。	16のジュニアクラブ・運動部を強化指定した。全国レベルの大会におけるジュニア選手(小・中学生)の入賞は26件であった。
③	高等学校運動部強化指定事業		国民体育大会等の全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成を目指して、育成・強化の中心となることが期待できる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援することで、高校生アスリートの競技力向上を図る。	32校56部を強化指定した。全国高等学校総合体育大会における入賞は60件、鹿児島県国体における少年種別の入賞は45件あった。
④	チームみえスーパージュニア強化指定事業		全国・国際スポーツ大会等で活躍する中・高校生選手を強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模な大会で活躍が期待できるジュニア選手の育成・強化を図る。	22名の中学生・高校生・高等専門学校生を強化指定した。全国高等学校総合体育大会や全国中学校総合体育大会等の全国レベルの大会における指定選手の入賞は40件であった。
⑤	三重県アスリートタレント発掘・育成事業(MIEスーパースタープロジェクト)		優れた資質を有する小中学生を発掘し、様々なプログラムを通じて育成することで、国民体育大会をはじめとした国内大会やオリンピック、ワールドカップなどの国際大会において活躍することができるアスリートの輩出をめざす。また、トップアスリートに必要な資質である高い意識や行動力を培うことで、社会生活の様々な場面でリーダーとして活躍できる人材として育成を図る。7期生から男子選手の発掘・育成も開始している。	これまでに発掘した5～7期生において、合計19名を育成している。8期生の募集を行い、男女24名の応募があった。11月12日(日)にオーディションを実施した。
⑥	トップアスリート応援事業		国民体育大会をはじめとする全国大会で活躍するという強い意志を持って、三重県内の高等学校に入学した少年選手に対し給付金を支援することで、安定した強化活動を支える。	今年度新たに9名を新たに認定し、今年度の認定数は21名(令和3年度3名、令和4年度9名)となった。全国高等学校総合体育大会等の全国レベルの大会における認定選手の入賞は14件あった。
⑦	チームみえ国体選手強化事業	少年・成年選手・共通	かごしま国体において10位台前半を獲得するため、活躍が期待できる本県代表選手(チームみえ)に対し、重点的な強化に取り組む。	令和5年の鹿児島県国体に向けて、各競技団体に対するヒアリングに基づき精査した強化費の配分を行うとともに、東海ブロック大会を突破した競技種別については、必要に応じて強化費の追加配分を行った。目標としていた10位代前半である天皇杯15位を獲得することができた。
⑧	女性アスリートサポート事業		女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性特有の諸課題について、女性アスリート、指導者及び保護者など関係者が知識習得や意識向上を図ることで、サポート体制の構築を図る。	研修会を1回実施し、女性アスリート特有の諸課題についてサポートを行った。
⑨	パラリンピック等選手強化指定事業		パラリンピック・デフリンピックをはじめとする全国・国際スポーツ大会での活躍を目指して強化活動に取り組んでいる本県の選手を指定し、その活動を支援することで、更なる競技力の向上を図る。	13名を強化指定した。対策本部が指標とした国際大会及び全国大会における指定選手の入賞は21件であった(アジア新記録1件、日本新記録3件を含む)。世界パラ選手権に1名、アジアパラ競技大会に4名が出場し、陸上競技男子200mでは、アジア新記録を樹立した。
⑩	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	国民体育大会や全日本選手権及び日本リーグ等で、三重県を代表するチームとして活躍が期待できるチームを指定し、成年選手の重点的な競技力向上を図る。	18のチームを強化指定した。鹿児島県国体における入賞は8チーム10件(1件の優勝含む)であった。
⑪	オリンピック等選手強化指定事業		全国・国際スポーツ大会等で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、オリンピック及び国民体育大会に向けた成年選手の競技力向上を推進する。	13名を強化指定した。鹿児島県国体には、レスリング競技、自転車競技、フェンシング競技、ソフトテニス競技、空手道競技、ライフル競技の6名の選手が出場し、入賞は3件であった。
⑫	トップアスリート就職支援事業		全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者に対し、県内企業等への就職支援を行い、社会と競技活動の両立を図りやすい環境を整備することで、国民体育大会を初めとする全国大会等で安定した競技力を確保する。	トップアスリート雇用の実績やメリット、現状を個別に会社ごとに個別に訪問した。令和6年4月1日採用予定のトップアスリートは現在4名。
⑬	ふるさとタレントアスリート強化指定事業		国民体育大会で活躍が期待できるふるさと選手を強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、競技力向上を推進する。	32名を強化指定した。鹿児島県国体(ブロック大会)には指定選手23名が参加し、指定選手の入賞は15件であった(ソフトテニス、ソフトボール、テニス、ウエイトリフティング、陸上競技、水泳(競泳)、レスリング、フェンシングの8競技)。また、国体以外の国内大会(全日本選手権や全日本学生選手権等)や国際大会(世界選手権やアジア選手権等)において、国内大会入賞以上、国際大会出場以上の成果を収めた指定選手は16名であった。
⑭	スポーツ指導員配置事業	指導者	全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者を競技団体が実施する強化練習や合宿に派遣することで、本県選手の競技力向上を図るとともに、トップアスリート等として国民体育大会の成年種別の競技得点を獲得をめざす。	29名を配置している。鹿児島県国体で15名が入賞し、124点(団体競技を含む)を獲得した。男女総合成績15位の獲得に大きく貢献した。
⑮	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業		三重とこわか国体後の安定的な競技力を確保するために、優れたコーチデベロッパーと各年齢カテゴリーにおけるトップ指導者の養成を図るとともに、その指導を多面的に支える指導体制の構築を図る。また、各カテゴリーを超えた指導者が幅広く交流し、チームみえとしての一体感を醸成するとともに、一貫的な指導体系を構築し、指導力と資質の向上を図る。	「みえコーチアカデミー」については、1・2期生26名を対象にコーチデベロッパー養成を、また成年からジュニアまでの指導者である3期生19名を対象に指導者養成を昨年に引き続いて実施している。6月にアカデミーⅣ、8月にはコーチデベロッパー特別研修を実施した。今後12月と3月にアカデミー開催を予定している。 「みえマルチサポートシステム」については、サポートスタッフを派遣し、効果的な指導体制を整備して、指導者の資質向上を図るとともに、競技力の向上を進めている。 「みえコーチングコミュニティ」については、毎月News Letterを発行するとともに、グループLINEを活用した相互の情報交換や最新の情報共有を進め、意識向上を図っている。 コーチデベロッパー26名のうち鹿児島県国体での入賞は12件あった。
⑯	競技用具等整備事業	環境整備	国民体育大会や全国大会等において安定した競技力を確保するため、強化活動に必要な競技用具等を、整備する。	ローイング、セーリング、カヌー、ライフル射撃、自転車、アイスホッケー競技について、各競技団体に競技用具等の無償貸与を行った。この競技における鹿児島県国体での入賞は17件であった。
⑰	競技団体・チームサポート事業		運営や経営に関する課題を抱える競技団体やチームに対し、専門的な知識やノウハウを持った人材をアドバイザーとして派遣し、組織力や経営力を高めることで、持続的な運営や経営ができる体制強化を図る。	3競技団体・チームが各々アドバイザーを決定し、持続可能な運営や経営を目指し取組を進めている。
⑱	みえのアスリート応援・発信事業	広報啓発	本県代表として活躍するアスリートを幅広く情報発信することで、スポーツを「みる」「支える」人との一体感を醸成する。	8月に広報誌「アスリートNEWS」を発行し、今年度の強化指定チームや鹿児島県国体注目選手、パラアスリートに関する広報を進めた。また、鹿児島県国体に出場する選手が着用するポロシャツを作成し、チームみえとしての士気を高めた。

※入賞件数等の数値は令和5年10月17日現在

特別国民体育大会総合成績について

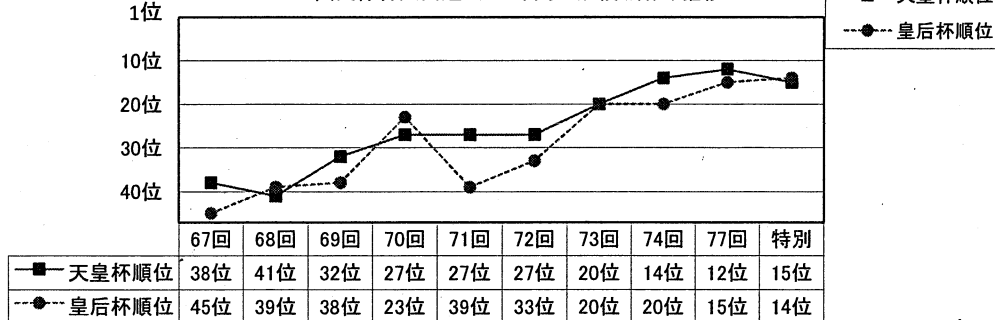
男女総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
2	ラグビーフットボール	70.0	10.0	80.0
3	ウエイトリフティング	86.0	10.0	96.0
3	ソフトテニス	70.0	10.0	80.0
3	ソフトボール	20.0	10.0	30.0
3	テ ニ ス	33.0	10.0	43.0
4	ボ ウ リ ン グ	48.0	10.0	58.0
5	バレー（ビーチ含む）	68.0	10.0	78.0
5	馬 術	43.0	10.0	53.0
6	トライアスロン	5.0	10.0	15.0
7	スポーツクライミング	48.0	10.0	58.0
9	銃 剣 道	9.0	10.0	19.0
10	バスケットボール	27.5	10.0	37.5
11	自 転 車	31.0	10.0	41.0
12	ス キ ー	11.0	10.0	21.0
12	陸 上 競 技	55.5	10.0	65.5
12	レ ス リ ン グ	33.5	10.0	43.5
13	水 泳	64.0	10.0	74.0
15	体 操	19.0	10.0	29.0
15	ハンドボール	25.0	10.0	35.0
16	セ ー リ ン グ	11.0	10.0	21.0
16	フェンシング	15.0	10.0	25.0
17	弓 道	21.0	10.0	31.0
18	ス ケ ー ト	24.0	10.0	34.0
19	カ ヌ ー	25.0	10.0	35.0
23	ライフル射撃	11.0	10.0	21.0
35	ローイング	1.0	10.0	11.0
小計	27競技	874.5	260.0	1134.5
	他 14競技	0	140.0	140.0
	40競技	874.5	400.0	1274.5

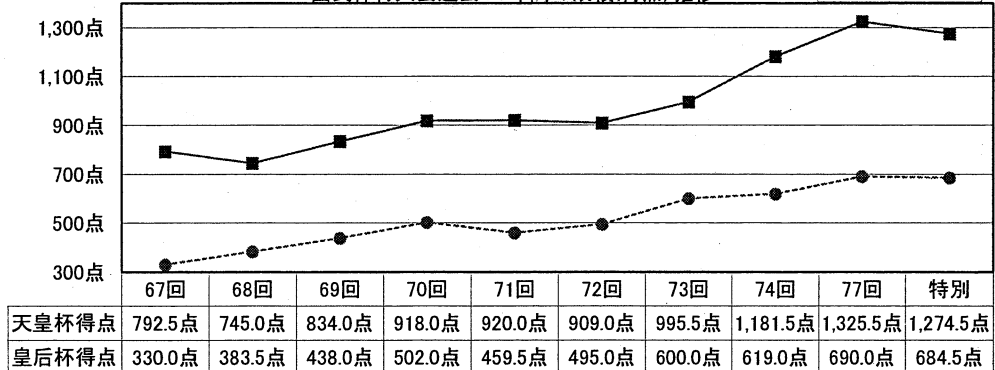
女子総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
1	テ ニ ス	33.0	10.0	43.0
3	ラグビーフットボール	30.0	10.0	40.0
5	レ ス リ ン グ	5.5	10.0	15.5
6	スポーツクライミング	30.0	10.0	40.0
6	ウエイトリフティング	16.0	10.0	26.0
6	ス キ ー	11.0	10.0	21.0
6	ソフトテニス	25.0	10.0	35.0
7	ハンドボール	25.0	10.0	35.0
7	ボ ウ リ ン グ	25.0	10.0	35.0
10	弓 道	21.0	10.0	31.0
11	自 転 車	8.0	10.0	18.0
12	体 操	13.0	10.0	23.0
14	バレー（ビーチ含む）	15.0	10.0	25.0
16	陸 上 競 技	26.0	10.0	36.0
16	カ ヌ ー	16.0	10.0	26.0
17	ラ イ フ ル	6.0	10.0	16.0
19	ス ケ ー ト	6.0	10.0	16.0
20	馬 術	2.0	10.0	12.0
27	水 泳	11.0	10.0	21.0
小計	19競技	324.5	190.0	514.5
	他 17競技	0	170.0	170.0
	36競技	324.5	360.0	684.5

国民体育大会過去10年間の成績(順位)推移



国民体育大会過去10年間の成績(得点)推移



特別国民体育大会冬季大会三重県選手団入賞一覧

団体種目

順位	競技名	種別	得点
1	ラグビーフットボール	成年男子（三重ホンダヒート）	40 点
	水（水球）泳	少年男子（四日市中央工業高校）	40 点
	ボウリング	少年女子（全三重）	24 点
2	バレーボール（6人制）	成年男子（ヴィアティン三重）	35 点
	弓（近的）道	成年女子（全三重）	21 点
	テニス	少年女子（四日市商業高校）	21 点
	ボウリング	少年男子（全三重）	21 点
3	バスケットボール	成年男子（全三重）	27.5 点
	ラグビーフットボール	女子（PEARLS）	30 点
	バレーボール（ビーチバレーボール）	少年男子（全三重）	18 点
	スポーツクライミング（ボルダリング）	少年男子（近畿大学工業高等専門学校）	18 点
4	フェンシング（サーブル）	成年男子（全三重）	15 点
	バレーボール（ビーチバレーボール）	少年女子（津商業高校）	15 点
	ソフトテニス	少年男子（三重高校）	25 点
	ソフトテニス	少年女子（三重高校）	25 点
5	テニス	成年女子（全三重）	12 点
	ハンドボール	成年女子（三重バレーソフト）	12.5 点
	ソフトテニス	成年男子（全三重）	20 点
	ソフトボール	成年男子（全三重）	20 点
	ハンドボール	少年女子（四日市商業高校）	12.5 点
	スポーツクライミング（リード）	少年女子（鈴鹿高校）	12 点
6	スポーツクライミング（ボルダリング）	少年女子（鈴鹿高校）	9 点
	銃剣道	少年男子（皇學館高校）	9 点
7	スポーツクライミング（リード）	成年女子（全三重）	6 点
8	スポーツクライミング（ボルダリング）	成年女子（全三重）	3 点
	体（競技）操	少年女子（暁高校）	5 点

	R 4	R 5
入賞件数	119 件	109 件
団体	28 件	26 件
個人	91 件	83 件

団体種目得点合計 496.5 点

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所 属 〈ふるさと登録〉	得点
1	陸上競技	少年女子A	砲丸投	世古 櫻紗	松阪商業高校	8 点
	陸上競技	少年女子A	やり投	曾野 雅	松阪商業高校	8 点
	水泳（競泳）	成年男子	100m	阪本 祐也	（株）富士防 《三重高校》	8 点
	水泳（競泳）	成年女子	100m	廣下 菜月	中京大学 《尾鷲高校》	8 点
	体 操 （トランポリン）	女子		太村 成見	相好トランポリンクラブ	8 点
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級スッチ	柳川 友章	（株）エルテックス	8 点
	ウエイトリフティング	女子	71kg級スッチ	石井 未来	いちご（株） 《亀山高校》	8 点
	ウエイトリフティング	女子	71kg級クリーン&ジャーク	石井 未来	いちご（株） 《亀山高校》	8 点
	ウエイトリフティング	少年男子	67kg級スッチ	田島 佳	四日市中央工業高校	8 点
	自転車競技	成年男子	個人ロードレース	山本 元喜	（公財）三重県スポーツ協会 キナンレーシングチーム	8 点
	自転車競技	女子	個人ロードレース	金子 広美	イナメ信濃山形	8 点
	スケート （スピード）	成年男子	500m	辻本 一史	（公財）三重県スポーツ協会	8 点
2	陸上競技	成少男子共通	4×100mリレー	上山 紘輝 林 哉太 緒方 英二 木田 充海	住友電工《宇治山田商業高校》 法政大学《四日市工業高校》 鈴鹿中等教育学校 津商業高校	7 点
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル65kg級	小塚 彪	いなべ総合学園高校	7 点
	ウエイトリフティング	少年男子	55kg級スッチ	山口 祐太	四日市工業高校	7 点
	ウエイトリフティング	少年男子	67kg級クリーン&ジャーク	田島 佳	四日市中央工業高校	7 点
	自転車競技	少年男子	個人ロードレース	森下 圭祐	三重高校	7 点
	馬術	成年男子	ドレーパー	中村 勇	北勢ライディングファーム	7 点
	馬術	少年	標準障害飛越	真川 葵衣	高田高校	7 点
3	陸上競技	成年男子	110mH	藤井 亮汰	（公財）三重県スポーツ協会	6 点
	体 操 （トランポリン）	男子		宮野 冬馬	相好トランポリンクラブ	6 点
	レスリング	成年男子	フリースタイル57kg級	藤田 雄大	自衛隊体育学校 《いなべ総合学園高校》	5.5 点
	レスリング	女子	フリースタイル62kg級	花井 瑛絵	朝明高校（教）	5.5 点
	レスリング	少年男子	フリースタイル71kg級	神谷 樹生	いなべ総合学園高校	5.5 点
	セーリング	成年男子	ILCA7級	黒田 浩渡	ナブテスコ（株）	6 点
	ウエイトリフティング	成年男子	+109kg級スッチ	横山太偉雅	（株）日商	6 点
	ウエイトリフティング	少年男子	81kg級クリーン&ジャーク	田島 宗	四日市中央工業高校	6 点
	ライフル射撃	成年女子	AR60PRW	藤枝 乙葉	愛知みずほ大学	6 点
	馬術	少年	リレー	山下 泰芽 真川 葵衣	高田高校 高田高校	6 点
	スケート （スピード）	成年男子	1000m	辻本 一史	（公財）三重県スポーツ協会	6 点
	スキ （クロスカントリー）	成年女子B	5kmクラシカル	渡邊 祐佳	（公財）三重県スポーツ協会	6 点

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属 〈ふるさと登録〉	得点
4	陸上競技	少年男子B	円盤投	東 琉空	稻生高校	5 点
	陸上競技	少年女子A	800m	松本 未空	鈴鹿高校	5 点
	セーリング	少年男子	ILCA6級	高島 楓真	津工業高校	5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級クリーン&ジャーク	松田 魁利	東京国際大学 《亀山高校》	5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	+109kg級クリーン&ジャーク	横山太偉雅	(株)日商	5 点
	ライフル射撃	成年男子	CFP30	水越 貴之	三重県警察本部交通部 高速道路交通警察隊	5 点
	カヌー (スラローム)	成年女子	カヤックシング'ル25ゲート	藤井 南帆	(医) 鈴鹿回生病院	5 点
	トライアスロン	成年男子		前田 凌輔	(公財) 三重県スポーツ協会	5 点
	スキュー (ジャイアントスラローム)	成年女子B		中澤 真緒	(公財) 三重県スポーツ協会	5 点
5	陸上競技	成年男子	三段跳	伊藤 陸	スズキ 《近畿大学工業高等専門学校》	4 点
	レスリング	成年男子	フリースタイル61kg級	弓矢 暖人	日本体育大学 《いなべ総合学園高校》	2.5 点
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル130kg級	河野 隆太	あずまフーズ(株)	2.5 点
	レスリング	少年男子	フリースタイル55kg級	尾浦 悠斗	いなべ総合学園高校	2.5 点
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル60kg級	佐藤 聖優	いなべ総合学園高校	2.5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	73kg級スナッチ	坂 典泰	石薬師高校(教)	4 点
	ウエイトリフティング	成年男子	73kg級クリーン&ジャーク	坂 典泰	石薬師高校(教)	4 点
	ウエイトリフティング	少年男子	81kg級スナッチ	田島 宗	四日市中央工業高校	4 点
	自転車競技	成年男子	ポイントレース	山本 元喜	(公財) 三重県スポーツ協会 キナンレーシングチーム	4 点
	自転車競技	成年男子	スプリント	伊藤 京介	日本大学 《朝明高校》	4 点
	馬術	成年男子	国体総合馬術	中村 勇	北勢ライディングファーム	4 点
	馬術	成年男子	馬場馬術	吉崎 秀幸	乗馬クラブ ラ・シュボーシェ	4 点
	馬術	少年	自由演技馬場馬術	土肥 悠真	高田高校	4 点
	馬術	少年	二段階障害飛越	真川 葵衣	高田高校	4 点
	カヌー (スラフ・リント)	成年女子	カヤックシング'ル500m	山本 結花	三浜紙器(株)	4 点
	カヌー (スラローム)	成年女子	カヤックシング'ル15ゲート	藤井 南帆	(医) 鈴鹿回生病院	4 点
	スケート (スヒート)	成年男子	500m	森本 拓也	(公財) 三重県スポーツ協会	4 点
	スケート (スヒート)	成年女子	3000m	富田 裕香	(公財) 三重県スポーツ協会	4 点

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属 〈ふるさと登録〉	得点
6	陸上競技	成年男子	800m	源 裕貴	NTN(株)	3 点
	陸上競技	少年男子A	棒高跳	村田 宇哉	近畿大学工業高等専門学校	2.5 点
	陸上競技	少年女子B	円盤投	稲葉 比呂	松阪商業高校	3 点
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級スナッチ	松田 魁利	東京国際大学 《亀山高校》	3 点
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級クリーン&ジャーク	柳川 友章	(株)エルテックス	3 点
	馬術	成年男子	自由演技馬場馬術	吉崎 秀幸	乗馬クラブ ラ・シュボーシェ	3 点
	カヌー（スラローム）	成年男子	カヤックシングル500m	松代 龍治	(公財)三重県スポーツ協会	3 点
	カヌー（スラローム）	成年女子	カヤックシングル200m	山本 結花	三浜紙器(株)	3 点
	カヌー（スラローム）	少年男子	カヌー（スラローム）	保木 琢磨	桑名西高校	3 点
	カヌー（スラローム）	成年男子	カヤックシングル25ゲート	小島 大地	(公財)三重県スポーツ協会	3 点
7	陸上競技	成年男子	300m	岩崎 立来	(公財)三重県スポーツ協会	2 点
	陸上競技	少年女子A	100mH	後藤 杏実	鈴鹿高校	2 点
	水泳（競泳）	少年男子A	自由形400m	山本 大地	尾鷲高校	2 点
	水泳（飛込）	少年女子	高飛込	伊坂 奏音	鈴鹿高校	2 点
	ボウリング	少年男子	個人戦	丸本佳一郎	亀山高校	2 点
	馬術	成年女子	標準障害飛越	今井有希奈	名四ホールディングス(株)	2 点
	スケート（スピード）	成年女子	1500m	富田 裕香	(公財)三重県スポーツ協会	2 点
8	水泳（競泳）	成年男子	自由形50m	石黒 智基	(学)津田学園 津田スポーツクラブ	1 点
	水泳（競泳）	成年男子	メドレーリレー4×100m	阪本 祐也 直江 篤樹 上坂 侑輝 花山 秀義	（株）富士防《三重高校》 鹿屋体育大学《尾鷲高校》 中京大学《鈴鹿市立天栄中学校》 日本大学《名張市立南中学校》	1 点
	水泳（競泳）	少年女子A	自由形50m	奥村 日菜	桑名高校	1 点
	水泳（飛込）	少年男子	高飛込	田中 優稀	海星高校	1 点
	ローイング	少年男子	シングルスカル	坂倉 充	相可高校	1 点
	ボウリング	少年女子	個人戦	種瀬 楓華	四日市農芸高校	1 点
	馬術	成年男子	トップスコア	大島 良紀	乗馬クラブクレイン東海	1 点
	馬術	少年	スピードアンドハンディネス	濱地陽菜乃	高田高校	1 点

個人種目得点計 378.0

競技得点（団体・個人）計 874.5

参加得点 400.0

天皇杯得点 1274.5

三重県競技力向上対策本部第19回競技力向上対策委員会概要

令和5年3月20日(月)
プラザ洞津 飛翔の間

1 令和5年度の競技力向上に係る取組等について

- ・ 中学校では、来年度から部活動の地域移行が進んでいくため、その部分が上手くジュニア育成とつながり、その選手たちが中学生世代、高校生世代で国体の得点につながるようにしてもらいたい。
- ・ 高体連として高等学校運動部強化指定事業を行っていく中で、各競技団体と連携を取りながら引き続き栃木国体のような成績を出せるよう取組を進めたい。
- ・ 三重国体を目指して県外から外部指導者を招聘していたが、今年は1回だけになってしまった。国体の剣道競技は、50歳代の選手も出場するため、幅広い選手を指導していただける外部指導者の存在が重要だと考えている。今後とも来ていただき支援を継続して行っていただけるとありがたい。
- ・ 県立学校の入学者選抜における保護者の転住を伴わない県外からの入学志願について、獲得(5%)について検討していただきたい。
- ⇒ 保護者の転住を伴わない生徒の入学者数について、これまで学科・コースの入学定員前期・後期ともに全体の枠の5%でした。この入試制度を活用する学校から、前期で多くの選手を獲得したいという意見をいただいたことを受け、令和6年度実施の入学者選抜において、全体の枠の5%を変更することはないが、総数の中で、前期・後期の人数割合を弾力的に運用できることとしています。
- ・ 愛知県では、サッカーで250名ぐらい県外へ出ていくが、それぐらいの人数が逆に愛知県に入っていて、国体でも成績を取めている。東海4県でも差がある。全国的な状況を確認してほしい。
- ⇒ 流出を阻止するために、流出しないような仕組み作りや三重県での競技力向上の取組を充実させ、三重県にすることにメリットを感じさせることが重要であると考えています。
- ・ 医・科学分野で競技団体が相談できる窓口がありますか。
- ⇒ 公益財団法人三重県スポーツ協会では医・科学委員会を設置しています。また、三重県競技力向上対策本部にご相談いただくことができます。
- ・ 地域移行のところで全国的にルールが定まっていないことを伺った。若い世代が色々なスポーツに取り組める良い機会だと思います。保険の問題や地域移行を行っていくうえでのルールがあやふやな部分があるので、三重県として地域移行がしやすい方向性を定めていただけると、より良いものが作れると考えています。
- ⇒ 県教育委員会と連携しながら進めてまいります。保険や兼職兼業等の問題については、国の状況等情報収集を行い、適宜競技団体の皆様と情報を共有し、進めてまいります。

- ・ 三重国体に出場するため、中学3年生が県内に残ってくれたのでその選手たちが今後戦力になってくれる。その選手を今後どのように指導していくかというところを三重県水泳連盟として強化していく、重要な期間である。
 - ・ ボート競技では、栃木国体で成年女子がはじめて7位入賞した。競技用具や色々な事業でご協力いただいた。スポーツ指導員の配置事業について、ボート競技の選手が少年選手を指導していただき、指導してもらっている選手が目に見えるように成長しているのがわかる。スポーツ指導員の事業継続及びマイナースポーツの教員の拡充も検討していただきたい。
- ⇒ スポーツ指導員配置事業につきましては、来年度も引き続き実施します。ボート競技の選手については、自分自身の強化に加えて、ジュニア選手の指導に大きく携わっていただいています。

2 令和5年度競技力向上対策事業について

- ・ 怪我や故障をした場合は、地元の病院に受診していただいた方が良い。チームドクターやゲームドクターのシステムを作るのは難しい。
 - ・ 指定されたチームや選手にアンケートを実施されたことはありますか。また、選手からフィードバックをする仕掛けがありますか。ユースオリンピックやオリンピックの選手のヒストリーを調査しており、そのヒストリーを知ることによって望ましいジュニア育成・強化のあり方をまとめることをしている。三重県もアンケートを実施することで今後の三重県の財産になる。
- ⇒ 各競技団体に対して、競技担当による状況の聞き取りを行っていますが、アンケートを実施したことはありません。今後、検討することとします。
- ・ 地域移行について国が令和5年度から3年間で「改革推進期間」にすることになっている。昨年12月に「改革集中期間」から変更したが、国としては地域移行をやめたわけではない。各市町の事情もあるため、市町と連携しながら地域の需要に合わせて実施していく必要がある。
 - ・ 伊勢市スポーツ協会を通じて、ジュニア育成や競技力向上の取組を今後も行っていきたい。
 - ・ エクセディでは、卓球の成年女子とサッカーの成年女子を企業としてサポートしている。予算を東海ブロックまで配分するという考え方について賛成する。
 - ・ 鹿児島国体に向けて幅広く取り組んでいると感じる。一方で選手の県外への流出が止まらないという意見があったが、流出する理由があれば教えていただきたい。
- ⇒ 県外へ流出する原因は、競技によって様々であると考えています。今日、選手にはとって、多くの情報が容易に入る時代になったことで、選択肢が増えたことが大きな要因の一つと考えています。また、学校という枠にとらわれることがなくなり、クラブチームへ進む選手もいます。選手はスポーツを行ううえで経済面や選手としての最終目標を考え、県外を選択する場合があります。
- ・ 指導者を育成していきたいが、授業で抜けることが出来ない等の課題がある。チームみえ・コーチアカデミーセンター事業の研修については、素晴らし

い。そういった研修が末端の指導者もできるといい。タレントを発掘する指導者を育成してもらいたい。

⇒ チームみえ・コーチアカデミーセンター事業をとおして、医・科学の専門家がスタッフとして当たり前のように強化活動に携わるようになったことで、現場が変わってきたと考えています。

- ・ 令和6年度、令和7年度、令和8年度も継続して今と同規模予算の獲得に向けて、ご尽力いただきたい。
- ・ 地域移行をどのように行っていくかではなくて、地域移行をどのように競技力向上対策へつなげていくかが大事だと考えている。例えば、水球では中学校に部活動がないが高校で全国優勝できる選手が育っている。それはジュニアクラブで育った選手が県内の高校へ進学している好循環が出来ている。競技力向上につなげていくためには、学校という概念を捨てて、平日は学校で、土日は地域の方々の手で育ててもらえれば良い。令和9年から先は、地域移行という名の文化の仕組みづくりを三重県ができるようになると、水球や相好体操クラブのように好循環が起きる。

協議事項

安定期における競技力向上に係る取組等について

パラアスリートの強化について

参考資料

三重県競技力向上対策委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重県競技力向上対策本部規約第11条の規定に基づき、三重県競技力向上対策委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営に必要な事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は、本部会議から付託および委任された専門的な事項について、調査・審議する。

(役員)

第3条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

2 役員は、本部長が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員)

第4条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから本部長が委嘱した委員をもって構成する。

(1) 県関係者

(2) 市町関係者

(3) 産業・経済関係者

(4) 学校・スポーツ団体関係者

(5) 学識経験者

(6) その他本部長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員及び役員の任期は、本会の目的が達成された日までとする。ただし、委員が就任時の所属機関及び団体等の役職を離れた場合、その委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開会できない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長が必要と認めるときは、委員以外に専門的知識を有する者の出席を求め、必要に応じて専門委員会を開催し、意見を聞くことができる。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が本部長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成25年5月29日から施行する。

